



2016年度 明治学院大学 公開講座

原発事故から5年

— 私たちがなすべきこと・なしうること —

期間／2016年10月22日(土)～11月12日(土) 毎週土曜日 全4回

時間／午後1時30分～3時30分

会場／明治学院大学 横浜キャンパス10号館 1031番教室

原子炉3基が炉心溶融にみまわれ、多くの人が最悪の事態を覚悟した福島第一原子力発電所事故から、5年が過ぎた。故郷をうばわれ、いまだに生活を立てなおす手だてを取りもどせない人びとへの関心が弱まる一方、除染から生じる廃棄物、汚染水などの処理や廃炉をめぐるのは、依然として楽観できない手さぐり状態が続いている。

この講座では、事故とその影響を慎重に捉えなおすとともに、これからのエネルギー源の選択をめくり、今ふつうの市民がなすべきこと、なしうることを考える手がかりを、あらためて探る。とくに一般向けの解説で定評のある専門家をまねき、敬遠されがちな技術的情報を正確に噛みくだいて伝え、民主的な社会の担い手にふさわしい判断のありかたを、この機会にともに再考したい。



企画／明治学院大学 教養教育センター付属研究所

2016年度 明治学院大学 公開講座
原発事故から5年
 — 私たちがなすべきこと・なしうること —

●プログラム

	日付	講演テーマ	講演者
第1回	10/22(土)	東電福島第一原発由来の放射能を可視化する	森 敏 東京大学名誉教授
第2回	10/29(土)	原子力発電って何だ — しくみから考える原発の安全性 —	後藤 政志 元原子力発電設計技術者 NPO 法人 APAST 理事長
第3回	11/5(土)	エネルギーとお金を使わないで 得られる豊かさ — 非電化工房のとりくみ —	藤村 靖之 発明家 日本大学工学部客員教授 非電化工房主宰
第4回	11/12(土)	原発計画をもみ消す: 窪川原発反対運動と むら民主主義	猪瀬 浩平 明治学院大学教養教育センター准教授

申込要領

- 募集人数 120名(申込先着順)
 会場 明治学院大学 横浜キャンパス10号館 1031番教室
 受講料 2,000円(全4回)
 申込手続 1) E-mailまたは往復はがきに、次の事項を明記して、総合企画室社会連携課までお申し込みください。
 ①氏名(フリガナ) ②性別 ③住所(郵便番号) ④電話番号
 2) E-mailまたは往復はがきを確認次第、E-mailまたは復信はがきにて受講票をお送りします。
 3) 開講初日に受講票(E-mailを出力したものまたは復信はがき)を持参し、受付でご提示のうえ、受講料2,000円をお支払いください(現金をご用意ください)。
 ※受講料納入後の払戻しはできませんので、あらかじめご了承ください。
 ※2回目以降に出席された場合、あるいは1回のみ出席でも受講料は2,000円となりますのでご注意ください。
- 申込締切日 2016年9月30日(金)
 その他 講座当日、構内へは自転車を含め車両乗り入れはできません。電車・バス等の公共交通機関をご利用ください。
 ※個人情報の取り扱いについて / 明治学院大学では、受講生の皆様の申込時における個人情報については、「学校法人明治学院個人情報保護基本規程」に沿って厳重に管理いたします。これらの個人情報は、明治学院大学の講座・セミナー等のご案内用としてのみ利用いたします。第三者には提供いたしません。

●出席状況

	10/22	10/29	11/5	11/12
受講者数	52名	51名	45名	43名